

安心を支える最後の砦

はじめまして。こんにちは。宇都宮市出身の宮っ子救急医でございます。令和元年度より栃木県救命救急センター副センター長を拝命しました。

今年度より当センターは、救急外来部門、集中治療部門、救急病棟部門の3部門の一括運営を行うこととなりました。救急患者の受け入れ口である救急外来だけに止まらず、患者さんが重症であった場合は我々の手で集中治療室（ICU）にて全身管理し、全力救命&全力社会復帰を目指します。また、ICUでの管理は必要ないまでも、緊急入院が必要な患者さんは、救急病棟で入院診療をさせていただきます。総じて当センターは、今年度より重症緊急患者さんの受け入れから退院までを一貫してサポートさせていただくシステムに生まれ変わりました。

地域の患者さんが安心して日々の生活を送れるよう、地域医療の最後の砦として、救命救急センターの使命を全力で果たしていく所存です。何卒、よろしくお願いいたします。

救命救急副センター長 小倉 崇以 医師

おぐら・たかゆき
1983年 栃木県宇都宮市出身
2019年 救命救急副センター長に就任
「病院は地域に必須のインフラである」という考えのもと、安定・安泰な救命救急センターの運営に尽力しています。英国留学およびWHO(世界保健機関)勤務を終えて地元へ帰還し、国内外の経験を基軸にし、県民のために働きます。趣味は旅行と美味しいもの巡り。

地域を守る基幹病院

救急医療は病院前から始まり救命・蘇生・安定化を迅速及び継続的に行わなければなりません。そのためには救急隊を含め自治体や各医療機関との連携、また院内においても各診療科との密接な連携が必要です。

このたび、当センターには新たに9名の新任救急医が赴任し、総勢17名体制で新生救命救急センターが稼働となりました。この救急医の増員にあわせ、従来の救急科と集中治療科を統合し救急・集中治療科となりました。これにより救急外来から集中治療まで一貫した医療が可能となり、さらに済生会宇都宮病院各診療科の高度な医療をより有効に提供できることになりました。

また、病院前救急である救急隊との連携などに対してもより積極的に対応し、地域の救急医療及び災害医療にも貢献していく所存です。地域を守る基幹病院の救命救急センターとして、宇都宮市民及び栃木県民の期待に応えるよう頑張りたいと思います。

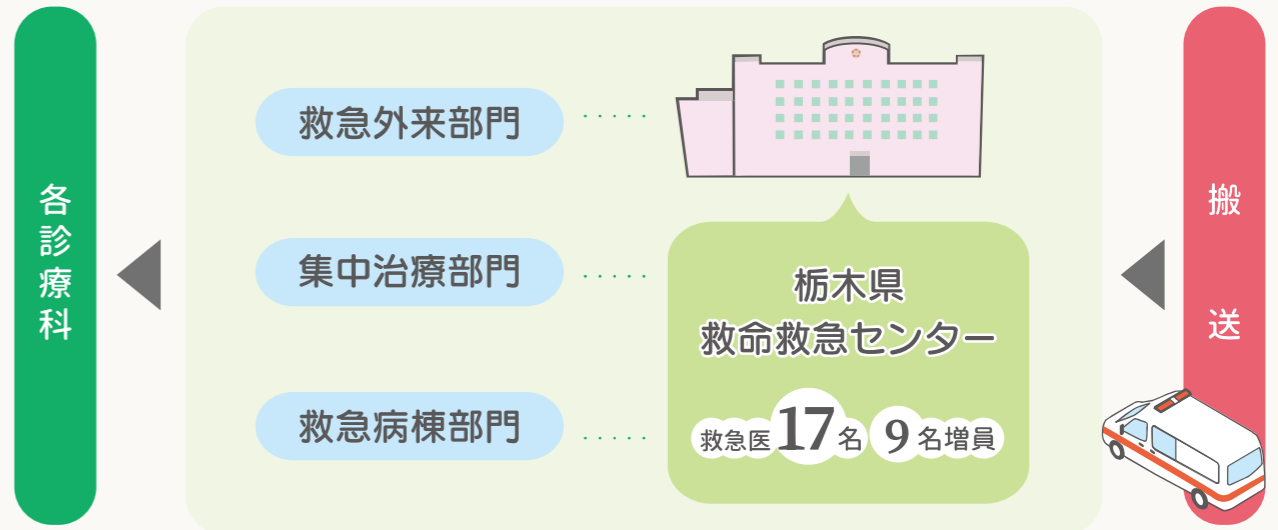
このドクターに
聞きました！

救命救急センター長 加瀬 建一 医師

かせ・けんいち
1954年 東京都出身
2018年 救命救急センター長に就任
平時の医療サービスの向上はもちろん、災害時に当院ができる医療サービスとは何かを常に模索することを心がけています。趣味は音楽鑑賞とドライブ。

当院の救急医療が新体制へ！

今年度より、救急医を9名増員し、3部門を編成しました。重症救急患者さんの受け入れから退院までを一貫して、サポートいたします。



救急病棟部門



HCU

単科での対応が困難な症例を救急病棟で受け入れます。

集中治療部門



HCU/CCU

重症患者さんの全身管理を行います。

救急外来部門



救急外来

救急患者さんの初期診療を行います。



スタッフ
Photo

救急・集中治療科の皆さん